

ITで
教育が変わる





IT教育のメリットとデメリット



IT教育の メリット



①視覚からも学べる



アニメーションや音声などを併せて利用できることで、理解が深くなることにもつながります。文字の読み上げや拡大機能があるので、学習障害や視覚障害のある生徒の学びにも活かせるでしょう

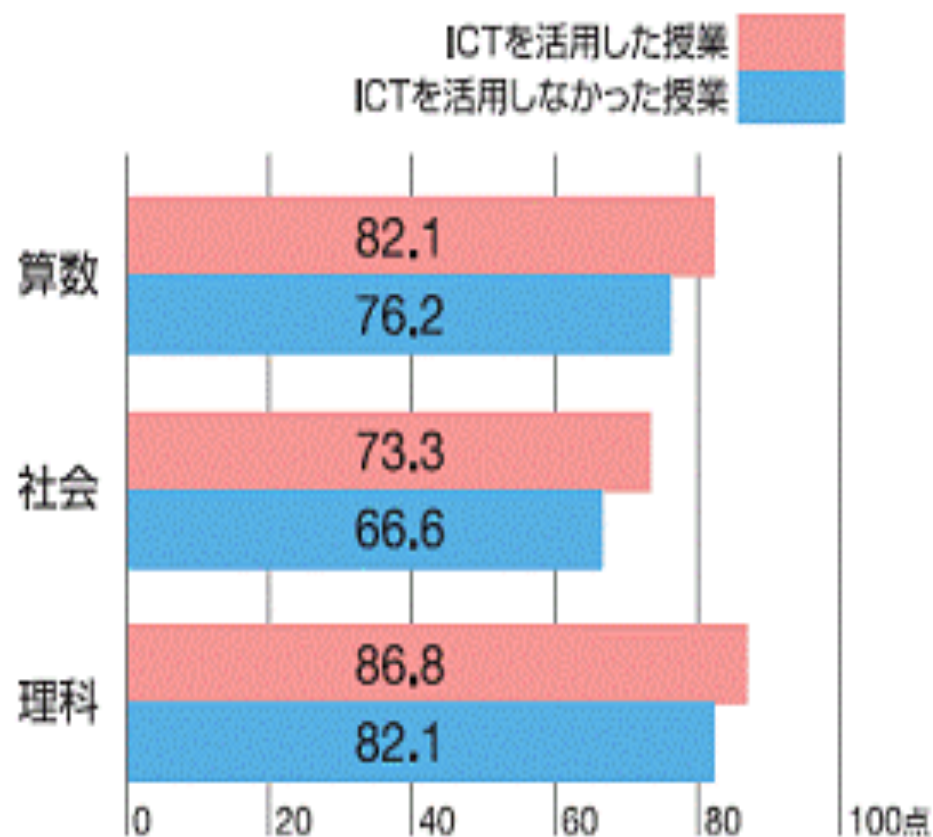
②学習意欲が向上する

児童や生徒が受け身ではなく、主体的に学習できる
アクティブラーニングに転換でき、学習意欲が向上します

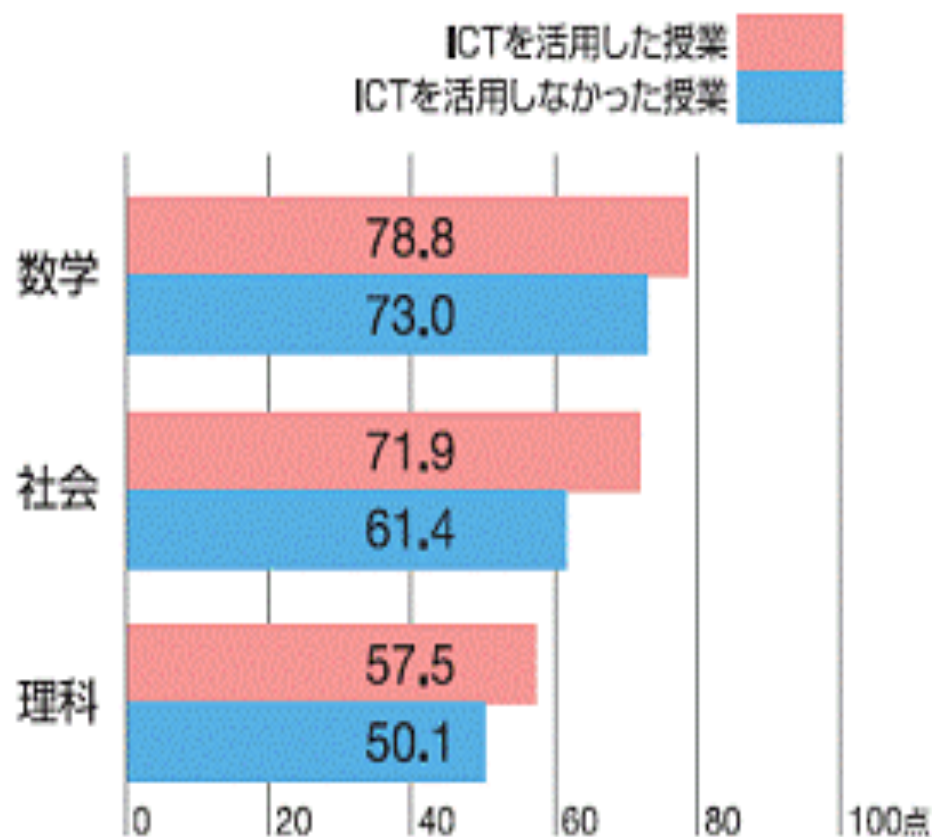
アクティブラーニングとはこれまで多かった教員の一方的な講義形式の授業ではなく、生徒が能動的に考え、学習する教育法のこと



小学校のテスト結果 (授業数:55 児童総数:2,139人)



中学校・高等学校のテスト結果 (授業数:28 生徒総数:852人)



参考資料

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/056/shiryo/attach/1249668.htm

③教員の負担軽減

ITを使えば、教員が授業を準備したり、授業中に板書をしたりする手間が軽減できます



IT教育の デメリット

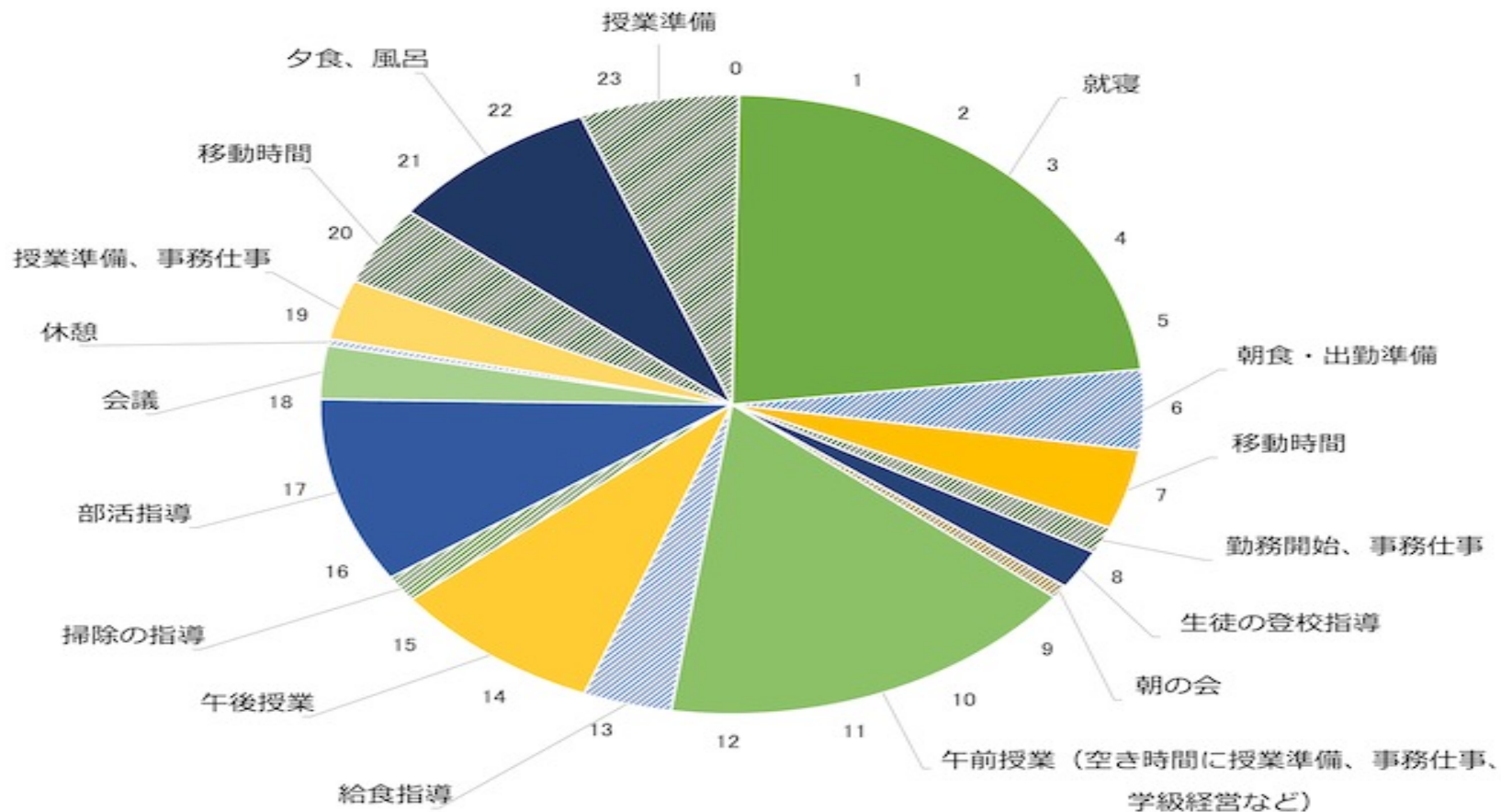


OECD国際教員指導環境調査（TALIS）2018報告書

小中学校ともに、日本の教員の1週間当たりの仕事時間の合計は、参加国の中で最長。

①教員の業務量が多く、ICTについて勉強する時間を取りにくい

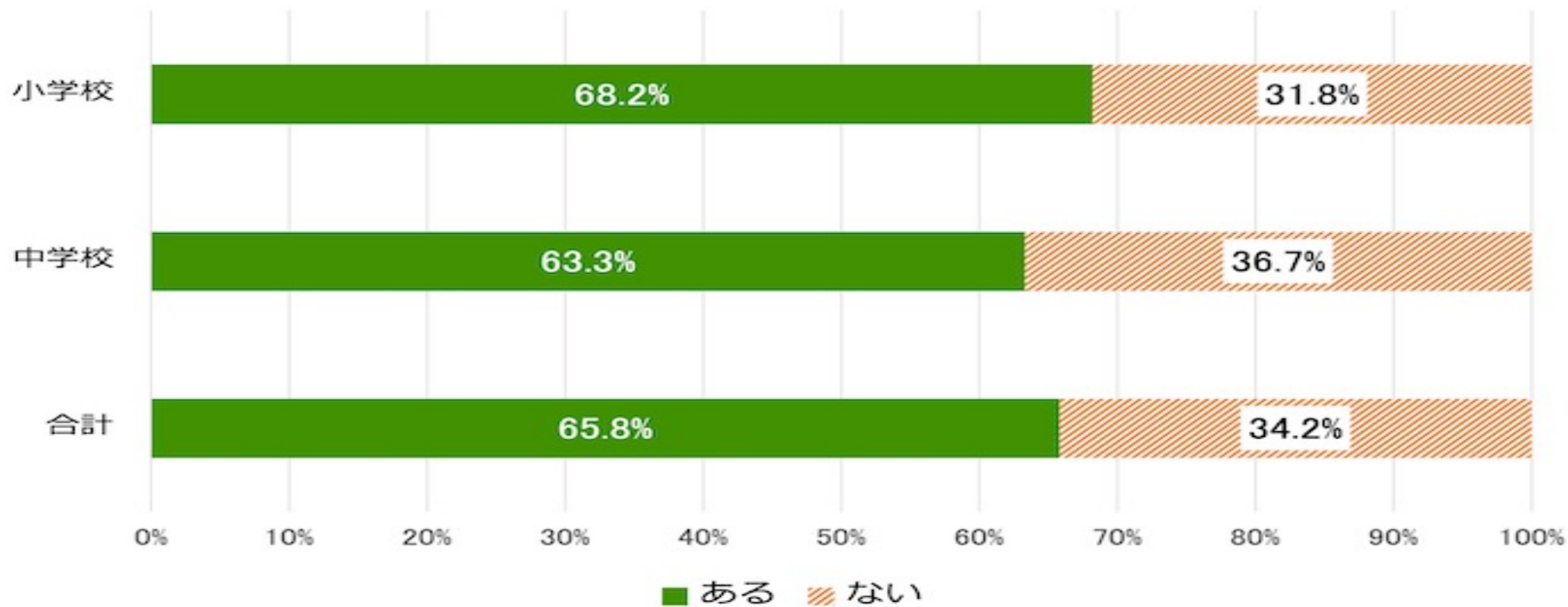




平均的な中学教員の一日

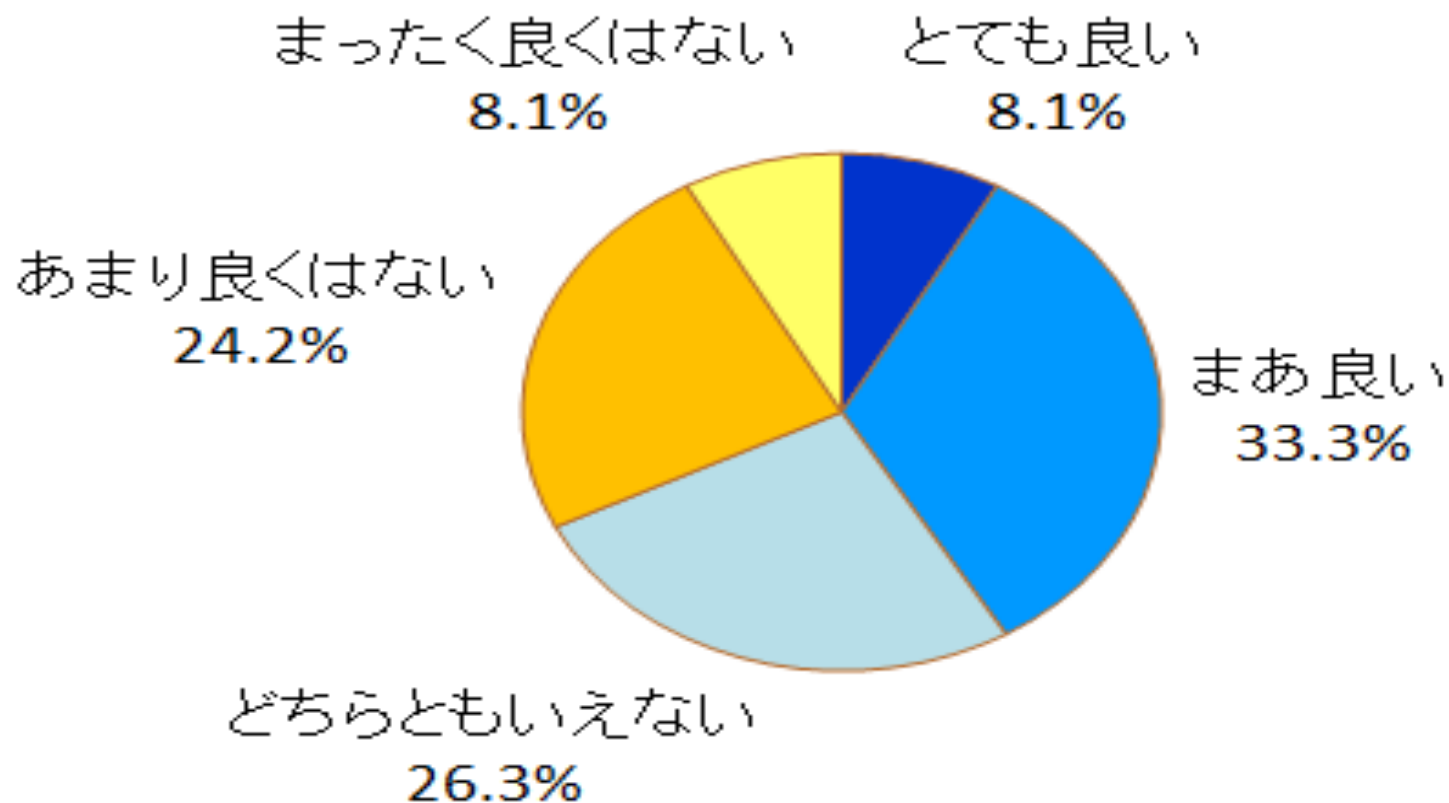
参考資料 <https://www.nipponfoundation.or.jp/journal/2022/72403>

2年ほどの間に、教師を辞めたいと思ったことがある



参考資料 <https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2022/72403>

教員のタブレット端末の教育利用に関する定点観測 意識調査報告書〈2012年〉



参考資料<https://www.digital-knowledge.co.jp/archives/1647/>

②生徒の個人情報の流出、有害サイトへのアクセスなどセキュリティ面



情報の漏洩は教育現場のみならず、社会でも問題になっています。生徒の成績は学校以外に持ち出さない、データを個人のメールなどで送信しない、など先生側のルールの整備と遵守が必要になります。

参考資料

<https://www.kyobun.co.jp/article/202311220>

4

200件の個人情報漏えい事故が発生した

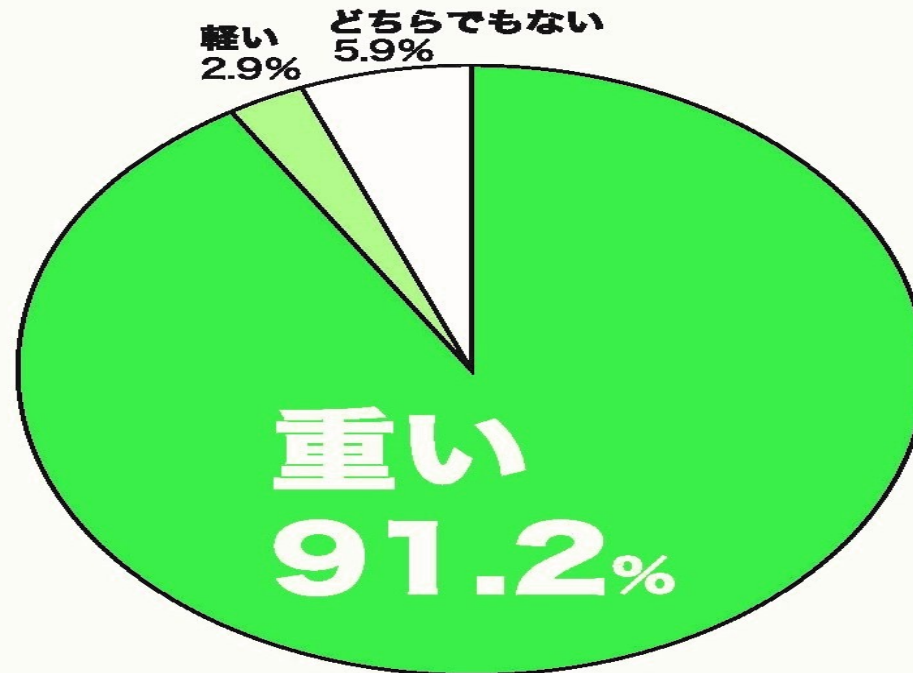


出典：教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会 (ISEN)
「令和4年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書 (第2版)

③ 端末や電源キャビネットなどのハードの用意にかかる負担



タブレット端末代（約7万円）の負担感



日本共産党京都府委員会は、来年度の高校新入生から予定されているタブレットの自費購入について、府民の皆さんに「教育の無償化とICT導入についてのアンケート」
公立高校に目を向けると、まだまだ導入が進んでいない地域も多く、かつ保護者負担での端末導入となっている場合も一定割合あることがわかります。

参考資料 https://www.jcp-kyoto.jp/a_a_p/a_a_p-7489

日本の IT教育の現状

- 日本はICT環境の整備が途上のため、課題や学級での活動に活用ができていない現状があります。2018年に「OECD国際教員指導環境調査 (TALIS)」が実施されました。インターネット設備が不十分だと感じた生徒の割合は、海外では22.9%であったのに対して、日本の中学生では27%がインターネット設備が十分ではないと回答しました。

参考資料 <https://www.u-can.co.jp/houjin/column/cl042.html>



pixta.jp - 6739070

大学の 情報化から 期待できること

- ・わかりやすく
勉強のしやすい授業
- ・創造力・表現力の向上
- ・情報活用能力の充実・強化



THANK YOU
FOR
LISTENING

